



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場会社名 スパークス・グループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8739 URL <http://www.sparx.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO (氏名) 阿部 修平
 問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員 (氏名) 峰松 洋志 TEL 03-6711-9100
 コーポレート本部長
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 2018年11月9日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 四半期決算補足説明資料を開示した後、当社ウェブサイト上で映像配信の形で決算説明させていただく予定です。

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	5,264	△0.3	1,832	△15.0	1,951	△9.1	1,542	△2.0
2018年3月期第2四半期	5,280	33.7	2,155	67.3	2,146	70.1	1,574	155.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,756百万円 (5.3%) 2018年3月期第2四半期 1,668百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	7.66	7.66
2018年3月期第2四半期	7.80	7.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	29,530	21,713	67.2	98.51
2018年3月期	31,336	21,391	62.3	96.89

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 19,834百万円 2018年3月期 19,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期の配当予想につきましては、業績予想を開示していないため、配当予想額は未定であります。

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日~2019年3月31日)

当社グループの主たる事業である投信投資顧問業は、業績が経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあるため将来の業績予想は難しいと認識しております。

なお、当社グループの重要な経営指標の一つである運用資産残高につきましては、原則として毎月月初5営業日以内に、前月末速報値を別途開示しておりますのでご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名－）、除外 一社（社名－）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	209,568,900株	2018年3月期	209,564,300株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	8,237,210株	2018年3月期	8,237,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	201,330,288株	2018年3月期2Q	201,729,272株

(注) 期末自己株式数には、株式付与E S O P信託口の所有する当社株式を含めております（2019年3月期2Q 3,000,000株、2018年3月期 3,000,000株）。また、期中平均株式数の計算においては、株式付与E S O P信託口の所有する当社株式を控除する自己株式に含めております（2019年3月期2Q 3,000,000株、2018年3月期2Q 672,131株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、上記「3. 2019年3月期の連結業績予想」に掲げた理由から、配当予想額についての記載をしておりません。配当額が確定した時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の日本株式市場は、米国を軸とした貿易摩擦への懸念がくすぶる中、新興国通貨の下落による投資家心理が冷え込んだこともあり一時軟調となった局面もありましたが、為替が円安ドル高となったこと、米国株式市場の底堅さなどが支えとなり堅調に推移しました。四半期末近くなると米中関係の悪材料が出尽くしたとの見方が広がったことや、トルコの利上げによって新興国通貨に対する不安が一服したことなどを受けて、日本株式市場が上昇した結果、日経平均株価は前期末に比べ12.4%上昇し24,120.04円で取引を終えました。韓国株式市場は、南北首脳会談の結果による北朝鮮リスクの後退により期初は堅調に推移しましたが、その後は米国、中国を中心とした貿易摩擦が継続する中、新興国からの資金流出懸念が投資心理を悪化させたこと等により軟調に推移した結果、韓国総合株価指数(KOSPI)は前期末に比べ4.2%下落して2,343.07で取引を終えました。

このような市場環境のもと、当社グループの当第2四半期末運用資産残高は、1兆2,120億円(注1)と前期末に比して7.7%増となりました。

上記の結果、当第2四半期における残高報酬は前年同期比20.2%増の48億56百万円となりました。また、成功報酬(注2)は、前年同期比70.2%減の3億40百万円となり、営業収益は前年同期比0.3%減の52億64百万円となりました。

営業費用及び一般管理費に関しては、前年同期比9.8%増の34億32百万円となりました。これは、主に営業収益の増加に伴う支払手数料が増加したことにより費用が増加したものです。

この結果、営業利益は前年同期比15.0%減の18億32百万円、経常利益は前年同期比9.1%減の19億51百万円となりました。また、当社が保有する投資有価証券の一部売却による投資有価証券売却益96百万円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2.0%減の15億42百万円となりました。

なお、事業の持続的かつ安定的な基盤となる収益力を示す指標である基礎収益(注3)は前年同期比20.3%増の17億68百万円(前年同期は14億69百万円)となりました。

(注1) 当第2四半期末(2018年9月末)運用資産残高は速報値であります。

(注2) 成功報酬には、株式運用から発生する報酬の他、日本不動産投資戦略に関連する不動産購入・売却に対して当社グループがファンドから受ける一時的な報酬や、日本再生可能エネルギー投資戦略に関連する発電所スキームの組成の対価等として受ける一時的な報酬(アクイジションフィー)を含んでおります。

(注3) 基礎収益とは、経常的に発生する残高報酬(手数料控除後)の金額から経常的経費を差し引いた金額であり、当社グループの最も重要な指標のひとつであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	18,649	16,816
前払費用	144	165
未収入金	892	816
未収還付法人税等	—	408
未収委託者報酬	537	853
未収投資顧問料	974	947
預け金	203	203
その他	83	158
流動資産計	21,484	20,369
固定資産		
有形固定資産	939	931
無形固定資産	1,780	1,783
投資その他の資産		
投資有価証券	5,868	5,383
差入保証金	217	213
長期前払費用	355	351
繰延税金資産	690	498
投資その他の資産合計	7,132	6,446
固定資産計	9,852	9,160
資産合計	31,336	29,530

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払手数料	159	213
未払金	2,745	1,693
預り金	232	67
未払法人税等	1,287	164
賞与引当金	—	284
その他	256	63
流動負債計	4,680	2,487
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
退職給付に係る負債	1	10
株式給付引当金	124	151
長期インセンティブ引当金	77	92
その他	61	75
固定負債計	5,265	5,329
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	0	0
特別法上の準備金合計	0	0
負債合計	9,945	7,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,582	8,585
資本剰余金	3,285	3,286
利益剰余金	9,374	9,486
自己株式	△3,204	△3,204
株主資本合計	18,038	18,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329	363
為替換算調整勘定	1,131	1,308
退職給付に係る調整累計額	7	8
その他の包括利益累計額合計	1,469	1,680
新株予約権	7	3
非支配株主持分	1,875	1,875
純資産合計	21,391	21,713
負債・純資産合計	31,336	29,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業収益		
委託者報酬	1,718	2,098
投資顧問料	2,850	2,955
その他営業収益	710	211
営業収益計	5,280	5,264
営業費用及び一般管理費	3,125	3,432
営業利益	2,155	1,832
営業外収益		
受取配当金	0	22
受取利息	35	46
投資事業組合運用益	—	0
為替差益	—	68
雑収入	10	8
営業外収益計	47	145
営業外費用		
支払利息	21	21
為替差損	2	—
支払手数料	18	5
投資事業組合運用損	11	—
雑損失	2	0
営業外費用計	55	26
経常利益	2,146	1,951
特別利益		
投資有価証券売却益	20	96
特別利益計	20	96
特別損失		
固定資産除却損	32	—
特別損失計	32	—
税金等調整前四半期純利益	2,134	2,048
法人税、住民税及び事業税	497	362
法人税等調整額	45	176
法人税等合計	543	539
四半期純利益	1,590	1,508
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	△33
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,574	1,542

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,590	1,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163	34
為替換算調整勘定	△85	213
退職給付に係る調整額	△0	0
その他の包括利益合計	77	247
四半期包括利益	1,668	1,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,678	1,754
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。